

里山シンポジウム実行委員会 議事録
2005/3/28 議事録 事務局荒尾稔作成

里山シンポジウム実行委員会の皆様

本日、第4回目の「第2回里山シンポジウム」委員会の会議が行われました
会場は、中央コミュニティーセンター 6階和室
午後6時～9時

参加者

金親博榮 / 小西由希子 / 栗原裕治 / 中村俊彦 / 荒尾 稔 / 我孫子市より2人(大畑 照幸、渡辺和夫)
各分科会委員 上善峰男 / 林 みね子 / 稗田 忠弘 / 福満 美代子 / 渡邊英二 / 桑波田 和子 / 千葉 智雄 / 田中 正彦 / 宮村賢治 / 横山 武 / 田中昭三 / 田代武男 /

欠席者

ちば里山センター / みどり推進課
遠藤陽子 / 中野真樹子 / 田崎 愛知郎 / 木下 敬三 / 遠藤 勇 / 荒尾 繁志 / 瀧 和夫 / 井村 弘子 / 宮城 直 / 所 英亮 / 小野 鈴子 / 横田耕明 / 加藤 賢三 / 鈴木優子 / 横山 武 / 岡田哲郎 /

1、全体のパンフレット

第2回里山フェスティバル
主催市町の確認 我孫子市を除いて、主催ではなく、後援扱いか、
千葉市・丸山町等ではどうか等、各開催地責任者から打診してもらう

問い合わせ先 里山シンポジウム実行委員会事務局長荒尾宅とする。電話番号等の掲載もする

2、協賛団体の募集 前年度の協賛団体を手分けして、確認を取ることとする

本日は、前年リストに+4件の登録依頼あり
我孫子市周辺の里山団体へのコンタクト 大畑氏より、4月7日を目途に取りまとめる。

3、分科会番号の統一

名称の確認
今年、分科会の開催の早い順に、連番をふる
現在14分科会

4、内容の具体化

講演者名
基調演説は、原 慶太郎氏
パネルディスカッションは
堂本千葉県知事
福島我孫子市市長
日本雁を保護する会会長 呉地正行
和光保育園園長 鈴木真廣
司会 小西由希子

タイトル 里山と子ども

総合司会 栗原 裕治

開催時間

時間割

1時30分	会長挨拶	5分	
	大槻副知事	15分	
1時50分	基調講演 原 慶太郎	40分	
2時30分	14分科会 発表	30分	1分科会2分以内
3時00分	会場からの質疑応答	20分	中村俊彦さん コーデネーター

3時20分	中央学院高校生徒発表	10分
3時30分~10分	休憩	
3時40分	パネルディスカッション	70分
4時50分	質疑応答	10分
5時00分	閉会	

交流会

6時から 会費1,000円

堂本知事、福島市長、中央学院の学長ほか関係者の皆様、

5 レターヘッド及びロゴ、デザインの統一

(1) 分科会単位では、必要最小限以上は独自で、ただ、森林分科会のサンプルを参考にする(会議場で配布済み) 中村俊彦さんからの発議で、「里山と子ども」のロゴを、作成し、パンフレット上でも大きくして、印刷出来ないかとの意見。反対なしで合意。林さんから、今週中に依頼出来できそうとの解答あり。

(2) パンフレットの件 田中さんより、カラーデザインは間に合わないとの指摘で、パンフレットもモノクロで作成する。各種配布資料も、これを表紙にして

6 問い合わせ先 荒尾の会社で受信。原則メールで

お問い合わせ先/資料ご請求先

里山シンポジウム実行委員会事務局

事務局長 荒尾 稔

Tel.03-3824-6071 Fax . 03-3824-5980

E-mail: tmlarao@tml.co.jp

里山シンポジウム実行委員会 HP <http://www.jgoose.jp/satochiba2>

7 会場の正式名称

(1) 会場での配布文書 A3×2つ折り(a4×4p)が、パンフレットであり、会場配布資料の表紙として利用モノクロで良しとする

会場では、多様な資料を、これを表紙として組み込む

14分科会のうちで、分科会終了済みの8分科会の報告書も添付する、そのルール化

8、全体会という名称で、スタートします。

基調講演のテーマの打ち合わせ

パネルディスカッションの内容の打ち合わせ 小西さんが司会者に

いずれも、これから、

今回の会議では、

基調講演のありかた。

話して頂く内容の検討 未検討

分科会報告のあり方。 各分科会で2分×14、事前に1分科会で1枚のパワーポイントを作成。

必要事項を記載、それを背景に話す方式

その後、中村俊彦さんの司会で会場と質疑応答及び問題点の掘り下げ等をおこなうこととなりました。

パネルディスカッション等でのあり方と、パネリストの候補の方々を

それぞれの紹介者から、その紹介の趣旨に関して説明がありました。

その内容に関して質疑がひとりひとり交わされました。その上で全員で、承認されました

この過程で、パネルディスカッションの時間を最大限拡張する事と

和光保育園の鈴木真廣さんを加えることで合意が出来ました。

9 大ホール外のフロアで、パネル展示及びその参加募集

(我孫子市側もパネルの出展予定)

各、分科会からも、パネルの出品を求めます。見積もり取得し、数量等を検討

10 物販に関して、意見交換をする

会場で、各NPOの書籍や、ピーズ、バック食品等の販売を認めることになりました。

ただし、大学構内であり、寄付行為として行って頂く趣旨を理解して。

11 昼食は、大学構内に、手づくりの食堂がある。大変安く美味しいとの評判。

当日、当日、この食堂の利用が可能か、我孫子市さんのほうで確認して下さい。

1 2 全体会終了後のパーティー(交流会)の開催 中村俊彦さんより、懇談会ではなく、交流会である旨の発言がありました。これも、今回、議題に上げて徹底した議論を交わしました。その結果として趣旨を全員が理解出来たことは大きな収穫になったと考えます。

1 3 今回、多面的な事項で

中村さんから具体的な説明なしには議論が出来ない状況

その必要性と目的 中村俊彦さんは、この交流会が最も重要との認識だと

シンポジウムで顔を合わせた内容を、直に相對して話が出来ることの意義があるとの認識

幹事役は我孫子市におねがいします。

経費の負担は 我孫子市側も、相對ゼロでお願いしたいとの要望あり

出席者の自己負担 経費は全て参加者が負担する。参加費は一人、1,000円

参加者の参加予約を前もって分科会で集約する

出席予定者 堂本知事、大槻副知事、福嶋市長、中央学院学長ほか

内容・進行は我孫子市に委ねる

1 4 知事のアポ

今回の、会議時点では確認 現状 不明 今後金親さんが確認

1 5 県庁内、各分科会への、千葉県庁の職員招聘の件

現状では、各分科会からの要望が殆ど出ていない状況。

みどり推進課を介してのアプローチでは、金親博榮会長にも一報を入れ、県庁担当部門に申しれをすることで、合意しました

1 6

予算 各分科会 3万円程度を目安とする

謝礼の基準 交通費支払いの基準は、km 30円 昼食代も予算充当可(スタッフは除く)

その他の経費 消耗品・雑費その他の経費は、分科会の予算得枠内で、費消可。

領収書等をもって、事務局で清算。

道案内の看板製作 金親サイドで、各分科会共用の、看板を製作。希望者が、順繰りに使用。

1 7 県民だより向け資料

事務局 ? 4月11日 15:00 〆切り(みどり推進課)

1 8、次回打ち合わせ

4月7日(木) 18:00~21:00 中央コミュニティーセンター 6F 61講習室

椅子席 40人収容

1 9、以下については皆さんに承認いただきました。

我孫子市手賀沼課の大畑です。

荒尾様からご連絡いただきましたように、現時点での参加内容(予定)は次のとおりです。

我孫子市独自の分科会は開催しません

我孫子市を会場に 6 分科会が開催されることから、我孫子市独自での分科会は開催しない予定です。むしろ、他地域での活動を市民に知っていただく機会を提供したいと考えます。

中央総会で「中央学院高校生物部」の発表時間を頂戴したいと考えます。

平成 15 年度に我孫子市岡発戸の谷津内で実施した昆虫調査の概要を中心に発表します。また、調査を通じて、生物部の子どもたちが、谷津の自然についてどんなことを思ったかを率直に報告してもらいたいと考えます。

中央総会会場での展示

中央総会会場前で、谷津のジオラマ(2 個)と谷津の自然を撮影したパネルなどを展示する予定です。また、谷津ミュージアムの会の活動を PR する展示も実施する予定です。

資料作成日程（まとめ）

県民だより原稿として情報を集め、これを、パンフレット等に利用する。

1、各分科会より事務局着 e-mail で送信する事 4月11日AM（朝）

必要な内容：	分科会名	開催日	時間	会場名称	所在地	時間割
出演者名	タイトル名	出演者プロフィール	会場へのアクセス、目標物			
	スタッフとなる委員の名前、代表者名	分科会の目的	主催、共催 協賛等			
	分科会の問い合わせ先、電話番号	当日持参する必要物、服装	昼食	天候による延期等		
会費，資料代の徴集						

2、シンポ全体への協賛団体の募集

昨年の協賛リストにある団体には、今年度の協賛の諾否を確認すること。

事務局が作成した「第2回里山シンポジウム協賛先見直しリスト」から、各分科会が、ないしは個人が
コンタクトする団体の関係分科会欄に、名前を、記入する。 期限4月6日（水）

記入の無い団体については、打ち合わせて、分担を決める。 4月7日 次回打ち合わせ日